

(様式1)

## 自己評価票

作成日 平成24年6月18日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0890200058		
法人名	有限会社 アコード		
事業所名	グループホーム ユトピア	ユニット名	2階ユニット
所在地	〒316-0034 茨城県日立市東成沢町3-23-13		
自己評価作成日	平成24年6月18日	評価結果 市町村受理日	平成 年 月 日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	
------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成 年 月 日	評価確定日	平成 年 月 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>人(職員)と人(ご入居者様・ご家族様)と関わる仕事であるので、相互の信頼関係を築くことに力を入れている。普段からチームワークの重要性を職員に理解させる努力をしている。 家族会を設置し、ご家族の希望を取り入れる仕組みを行っている。 地域密着サービスであるので、ボランティアや、地域の方と様々なイベント等を通じて、ご入居様と交流し、または、認知症の方々の様子を理解していただくように努めている。</p>
--

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

--

自己評価	外部評価	項 目	自 己 評 価
			実 施 状 況
I 理念に基づく運営			
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝、申し送りの際に理念を復唱し、職員間で理念の意識付けを行い、理念を共有し実践につなげている。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	行事やイベントがある際は、地域の方々やボランティアの方との関わりを積極的にもち、地域の一員として交流している。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	行事やイベントの際に認知症の方と話す機会作りや関わる機会を作るなど認知症を理解していただけるよう努めている。
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に一度会議や行事を交わりながら実施している。会議参加の管理者より、会議内容を聞いたり、議事録を読んで出た意見を職員で話し合いサービス向上に活かせる様努めている。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議を活用し、担当者と情報交換をおこなうよう努めている。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	入居者の希望や意見を尊重し、希望があれば散歩・買い物朝など行い、フロア内も自由に使用できるようにし、安全を確保しつつ自由な生活を送って頂けるよう支援している。施錠についても身体拘束であることを認識した上で職員の勤務体制に応じリビングの出入り口の施錠をしている。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の無い様に全職員が言葉使いや声のかけ方・対応の仕方など注意を払い、虐待の危険を早期に発見し虐待防止に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	サービス事業者懇談会に参加をしたり、他事業者との意見交換や情報交換をしている。
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や契約解除の際には、解約(解除)する前にご家族へ十分に説明をし納得して頂いてから手続きを進めるように努めている。
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置したり、家族会の中で意見・要望を聞き迅速に対応や改善が出来る様、上司・管理者間で話し合いを行い、経営に反映できるよう努めている。 また、面会の際ご家族が話しかけやすい雰囲気作りを職員が積極的に作るよう努めている
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	空き時間や連絡帳を利用し意見の交換や提案を反映し、業務改善などに役立てている。
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員に当番や、役割を与え、責任感とやりがいを与えたりしているが、キャリアパス制度は事業所の規模からして難しいと考えているが、それに相当するものを整備することを考えている。
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症実践者研修に参加させたり、自社で独自の研修を実施している。
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	日立市内の事業者連絡会や、介護相談員連絡会に出席し、他事業所のいい情報などを参考にして、サービスの質の向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時よりアセスメントシートを活用し本人の要望・不安・困っている事など記録し、本人の気持ちに沿ったケアや安心を確保する為の関係づくりに努めている。
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の立場になり、ご家族の気持ち・思い(要望や不安な事など)に耳を傾け・受け止め信頼関係を作るよう努めている。
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントシートを活用し観察を行い、今、本人や家族に必要な支援を見極め対応出来るよう努めている。
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族の様な関係を築き、同じ時を過ごし支えあって安心・安全に暮らせるよう努めている。 また、本人の個性や残存機能を十分に発揮できるような支援に取り組んでいる。
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時などご家族との情報交換や共有を行い、入居者とご家族が安心していただけるような関係が築けるよう取り組んでいる。
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのある物(家具・衣類など)を使用するなど工夫し、家に居た時と同じような場所作りが出来る様支援に努めている。
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者さんの性格や、入居者同士の関係を観察・把握し、職員同士で意見交換や情報の共有を行い、孤立することが無いよう支えあえるような支援に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了しても、必要に応じて他事業者へ情報を共有したり、相談や支援に努めている。
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いや意向を聞き、職員同士で情報共有を行い把握できるよう努めている。困難な場合は本人の気持ちになり検討するように努めている。
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴を、本人の言葉や家族からの情報をもとにカンファレンスを行い全職員が把握に努めている。
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントシートを活用し観察を行い、一日の過ごし方や本人の心身状態・残存能力など、暮らしの現状の把握に努めている。
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	1ヶ月に1度モニタリングを行い、職員同士意見交換を行いご家族の思いや本人のニーズ・現状に即した介護計画書を作成出来るよう努めている。
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録を書く際は、健康状態に関する記録は赤ペンで記録するなど、職員が見やすいような記録の書き方をし、職員間で情報の共有が出来るよう取り組み実践し介護計画の見直しに活かしている。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者や家族のニーズにこたえ、その時の状況に応じて生まれたニーズも臨機応変に対応し、支援できるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアによる行事や外食・買い物などを取り入れ、入居者の要望や希望に答えられる支援に努めている。
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回のホームドクター往診の実施を行い、適切な医療を受けられるよう連携を取り情報の交換・共有を行い支援している。
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	入居者さんの体調の変化が見られたら看護師と密に連絡を取り、適切な受診や看護を受けられるよう支援している。
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は入居者の情報を医療機関やホームドクターや看護師に提供する。 退院時は医療機関からの情報を収集し、治療の継続・ケアに活かせる様、全職員・ホームドクター・看護師と連携をとり支援を行っている。
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族にホーム内で行える介護のを十分に理解していただき納得して頂いたうえで方針を決定し、全職員が方針を共有し協力しながら支援に取り組んでいく。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に備え、緊急マニュアルを作成・緊急時の対応の勉強会を実施し、すべての職員が対応出来るよう定期的に訓練を行い実践に努めている。
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害対策に備え避難訓練を行ない避難方法を全職員が身に付けている。 災害に備え食糧・水を備蓄している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格・個性を尊重し、本人の気持ちになって考え、声掛け・対応を行うよう努めている。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の決める力を大事にし自己決定が出来るよう、選択肢が多く決定する事が困難な場合は、選択肢を減らしたりと自己決定が出来る様支援している。
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者さんのペースを大切にし、本人の生活リズムやその時の状況に合わせた支援を行えるよう努めている。
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2か月に一度、希望者に散髪を行っている。着る服を一緒に選んだり、準備をしたりと本人の希望や好みに応じて身だしなみやオシャレの支援が出来る様努めている。
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者さんの好きなメニューやイベントメニューを献立に入れたり、季節の物を取り入れ季節を感じて頂いている。
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者さんの食事・水分摂取の様子を観察や記録を行い、体調・食事制限など栄養のバランスを考え一人ひとりにあった調理の工夫を行っている。 水分不足にならないよう全職員が意識し水分補給を促すよう取り組んでる。
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを行っている。 1人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアを行い口腔内の清潔保持に努めてる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握し、排泄の声掛け・トイレへの誘導を行い、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。 排泄失敗した際は、本人の羞恥心なども視野に入れ対応を行っている。
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為毎日、ラジオ体操を行ったり、1日1回は乳製品を摂取して頂いている。 入居者の力に応じた予防を行っている。 便秘が解消出来ない時は、看護師・ホームドクターに相談し適切な支援を行っている。
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入居者の体調や希望に応じて、入浴を行っている。入浴剤など使用し入浴を楽しんでいただく為の工夫を行っている。 入浴時に皮膚の状態観察も行っている。
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体操や歩行訓練・日光浴やレク・散歩など一人ひとりの体調や状況に応じ安眠に繋がるよう日中の活動を積極的に行い安心して眠れるよう支援している。
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬マニュアルを作成し服薬の際は誤薬が無いよう努めている。薬についての説明書きを管理し、一目で薬の作用・副作用がわかるよう表にしている。薬変更の際は表を新しく書き換え常に新しい情報がわかるように取り組んでいる。
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	無理なく本人の体調や力に応じた役割を楽しみながら出来る様支援している。 入居者が昔から行っていた趣味など把握し、場所の提供や他入居者さんの配慮をしながら支援している。
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	本人の希望や状況に応じて散歩に出かけたり・ドライブに行くように努めている。 ご家族にも協力していただき外出できるよう取り組んでいる。 体調により外出出来ない時でも、天気の良い日はベランダに出で体操やお茶を飲み日光浴をし外の空気を感じて頂けるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価
			実施状況
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者さんの欲しい物・買いたい物などの要望がある際、入居者さんの状況に応じて一緒に買い物行き、本人の力に応じて会計をしていただけるよう支援している。</p>
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者さんの希望に応じてご家族に電話を掛けたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間は常に清潔を保持に努め消毒の徹底を行い、その時期の花を飾ったり、季節感を感じられるような作品を飾ったりし、安心してゆっくりと過ごせる空間づくりに取り組んでいる。</p>
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりが孤立することなく、自分の居場所を見つけ入居者同士が仲良く会話を楽しみ過ごす事が出来き、思い思いに気持ちが落ち着ける場所を支援している。</p>
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室でも居心地良く過ごせるように、ご家族と相談・協力を得て以前から本人が使用していた衣類やタンスなど身の回りにあったものを使用していただくなど工夫している。</p>
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全かつ自立した生活を送って頂けるように環境整備に努めている。</p>

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない